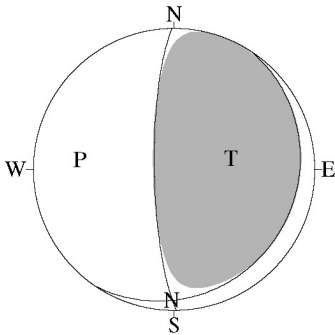


## 4月25日 エクアドル沿岸の地震 (W-phase を用いた発震機構解析)

W-phase による解

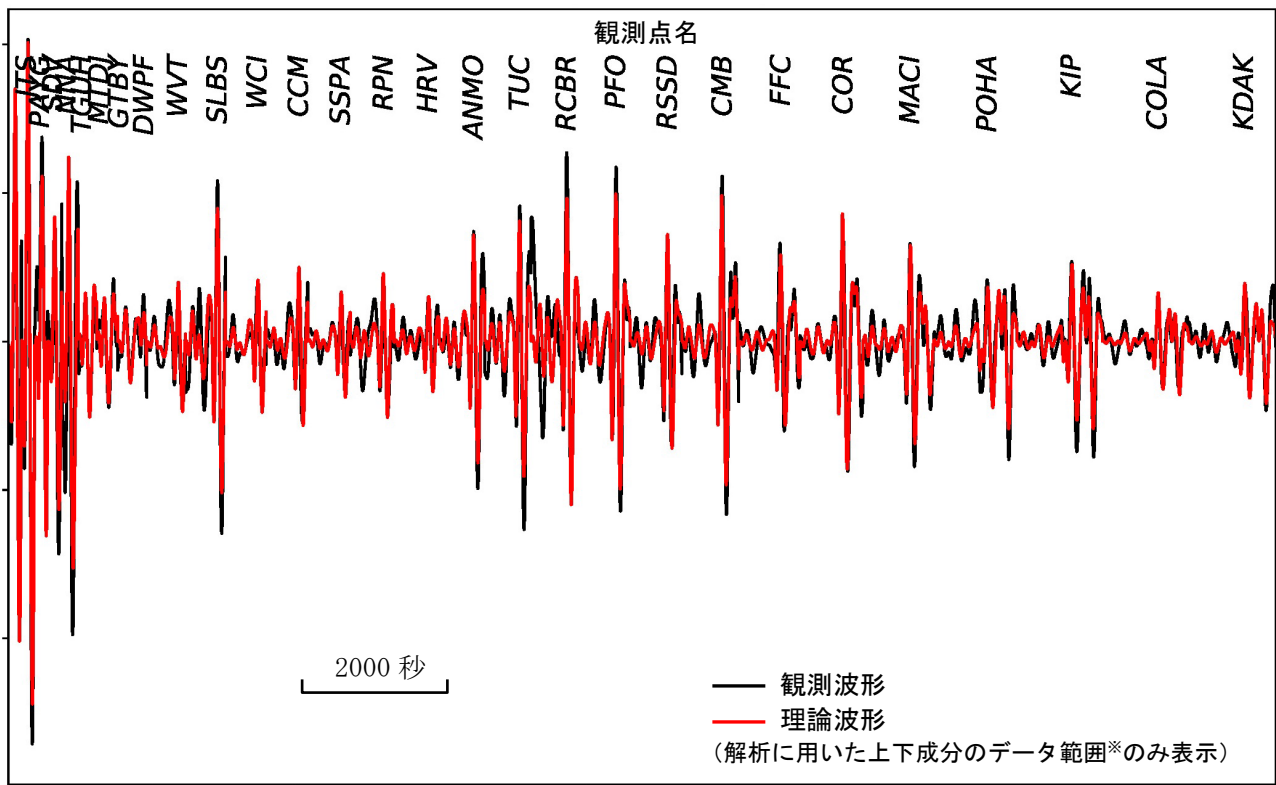


2025年4月25日20時44分(日本時間)にエクアドル沿岸で発生した地震についてW-phaseを用いた発震機構解析を行った。発震機構、Mwとも、他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mwは6.4であった。なお、W-phaseの解析で求めた震源は北緯1.0°、西経79.5°、深さ17.5kmとなった。

W-phaseの解析では、震央距離10°~90°までの28観測点の上下成分、15観測点の水平成分を用い、100~300秒のフィルターを使用した。

注) W-phaseとはP波からS波付近までの長周期の実体波を指す。

Mw	M <sub>0</sub>	断層面解1(走向/傾斜/すべり角)	断層面解2(走向/傾斜/すべり角)
6.4	4.66×10 <sup>19</sup> Nm	34.1° / 13.8° / 124.2°	179.1° / 78.6° / 82.1°



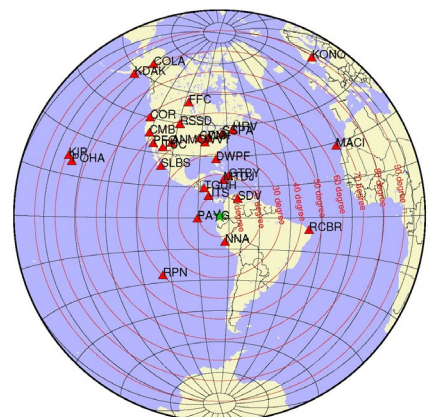
※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phaseに関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., 175, 222-238.

解析データには、EarthScope Consortiumより取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士及びRivera博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置